

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

放射線に関する理解促進、除染や中間貯蔵事業をベースとした環境再生等に関する情報発信などの活動を行っています。

(1) 最近の動き

(11月30日時点)

- バトミントンの未来を担う若手に対して研修を行いました。公益財団法人日本バトミントン協会の未来創造アカデミー2019プログラムの一環で「福島における震災から環境回復に至るまで」と題して、語り部の方のご協力もいただき、「震災からこれまでに知る」「放射線を知る」「放射性物質対策について知る」「外部（県外/海外）から福島を知る」「みんなで考えて、話す、日本（福島）の状況について」の5ステップで構成したプログラムを実施しました（渉外広報課、環境再生プラザ実施、11/24）。
- 福島市で「放射線について学ぶ子育てカフェ」を開催しました(11/3)。
- 南相馬市で職員のための「放射線について学ぶセミナー」を開催しました(11/28)。

(2) これまでの実施状況

項目		2019 今月分	2019 合計(4~11月)	2018 (参考)
■相談員支援センター				
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	5回	20回	36回
	専門家派遣	2回	6回	20回
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	11回	45回	38回
	車座意見交換会	6回	35回	57回
■環境再生プラザ				
・専門家派遣	自治体など	0件	22件	88件
	小中学校など	13件	58件	70件
	その他	2件	18件	3件
・移動展示		10件 (12日)	37件 (47日)	45件 (62日)
■その他				
・個人線量測定の実施(WBC)		7日	66日	87日
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援事業		28台日	116台日	180台日